

どなたでも自由に参加できます。
一歩でも二歩でも参加してください。

第18回 抗議デモ・学習会

5月16日(土)

- 抗議デモ 午後1:30集合 1:50出発 烏山区民センター広場
- 学習会 午後2:30開会 烏山区民センターホール

講演 オウム真理教問題を風化させない!!

日本中を震撼させたオウム真理教による国家的テロ、地下鉄サリン事件から14年が経過しました。獄中にある元教祖麻原彰晃は死刑が確定したが、被告の元信者は未だ公判中が多数をしめます。

そして、オウム真理教の生き残りは名前を「ひかりの輪」「アレフ」と変え、私たちが居住している地域に集団で居住し、布教活動をおこなっています。どのような目的でオウム真理教は数多くの凶悪な事件を起こしたのか。現在の「ひかりの輪」「アレフ」の本質は何かなど、お話をさせていただきます。

●講師：杉田和博氏

略歴 埼玉県出身、東京大学法学部卒業、昭和41年警察庁へ。57年内閣官房長官秘書官事務取扱。60年警視庁第一方面本部長、鳥取県・神奈川県警察本部長を歴任。平成6年警察庁警備局長。平成13年内閣危機管理監を経て16年に退任。以後、東海旅客鉄道株顧問。



烏山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

主催：烏山地域オウム真理教（現アレフ）対策住民協議会 共催：世田谷区

烏山施設に居住する信者が減少、被害が各地に拡散

一昨年、オウム真理教が分裂し「ひかりの輪」ができた当時は、「アレフ」と合わせて一〇〇名余りの信者が烏山施設に居住していました。2月の発表では、両派で約70名弱に減少したことが判明しました。

住民協議会による、監視当番での日誌にも、信者の移転の状況が克明に記録されています。第83号には「午前中はGSハイム、サンサンマンションへの出入りが多く（中略）荷物を運び出す作業を、午後までしていました。」とあります。

移転は昨年の秋頃から、現在も続いている模様です。それを裏づけるように、公安調査庁のホームページには、オウム施設への、立入検査の状況が書かれています。昨年より、新施設が次々に掲載されています。

新たな地域に移転し、施設を作ることになると、オウム真理教の影響が、益々多くの地域に拡散されることとなります。

昨年取材で伺った、千葉県野田市施設の隣家では「オウム真理教が移転してきた当初は、全く解らなかつた。」と語っていました。ある日突然、隣はオウム真理教の信者と知らされた住民の恐怖と戸惑いは、計り知れないものがあります。

オウム真理教は、信者の移転について「家賃が安い地域に移転」と、財政的な理由をあげています。烏山地域住民にとっては、信者の減少が「解散・解体」に向かうのではなく、オウム真理教が全国に拡散することに新たな危機を感じると共に、オウム真理教の身勝手な態度に怒りを感じます。

第3回リサイクルバザー報告

4月11日(土) オウム対策住民協議会主催の第3回リサイクルバザーが、烏山区民センター前広場で行われました。当日は、気温26度の真夏日と言われる中、大勢の人たちが来場して、大盛況でした。

広場いっぱい、衣類、陶器・ガラス製品、子ども用品、日用雑貨、食料品、靴、ハンドバック・カバンが並べられ、これほどの品物の揃うバザーは他にないと、来場者からも声をかけられました。値段も新品・中古を問わず10円～1000円までと、安い事もあり、午前10時から始まり、正午にはほとんど売り切れ状態となり、嬉しい悲鳴でした。

3回目ともなると、訪れる人も欲しい品物を目指して、開始時間まで、そこから離れようとしないので、



買い手同志の言い合いに、仲裁に入るなど大変でした。

バザー開催にあたり、住民協議会メンバーに加えて、大勢の町会・自治会の皆さんが手伝って下さいました。そして、区関係の職員の皆さん、異動してしまったのに手伝いに来て下さった方々、多くの人たちのご協力とご支援で今年もリサイクルバザーを成功させることが出来ました。

何よりも、私たち住民協議会の活動に賛同して下さい、品物を寄付して下さいました皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

売上金はこれからの活動に役立てて行きます。

【売上金】 521,368円

【募金箱】 18,409円



コラム「声」第2回 明るく誠実なパワフルお母さん 協議会会員 Sさん

「ひかりの輪、アレフの幹部は特に許せません」「一般信者も、テロ行為をした教団に、今だ在籍していることは、テロ行為を認めていることなので、許せません」オウム真理教が、烏山地域に集団居住を始めた時から、反対活動をしているので、見る眼は確かです。

「信者を社会復帰させて、立ち直させることは大切」と言いつつも「とても難しいことですね」「気持ちでは解っていても、働いている職場で、オウム真理教の信者が、身近にいたらいやですね」と正直な気持ちを

話してくれました。

終始正面から私の眼を見て話す姿に、誠実な人柄が滲みでてきます。話を聞いたのは、4月11日の、バザーの準備で忙しい直前でしたので、その話に及ぶと「去年は、北烏山のお寺の住職さんが、バザーの物品を寄付してくれました」自分の周囲にも、どんどん協力を広げていく、パワフルお母さんです。「オウム真理教施設の大家さんとも話し合い、解決への努力を」と活動の提案を受け、取材を終えました。

住民協議会活動報告

3月19日(木) リサイクルバザー寄付品受付
3月27日(金) リサイクルバザー寄付品受付
4月 3日(金) リサイクルバザー寄付品受付
4月 5日(日) 花の丘フェスタ募金活動
4月10日(金) リサイクルバザー寄付品受付

4月11日(土) 第3回リサイクルバザー
4月20日(月) 「協議会ニュース85号」初校正
4月21日(火) 実行委員会
4月27日(月) 「協議会ニュース85号」再校正
5月11日(月) 「協議会ニュース85号」発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。